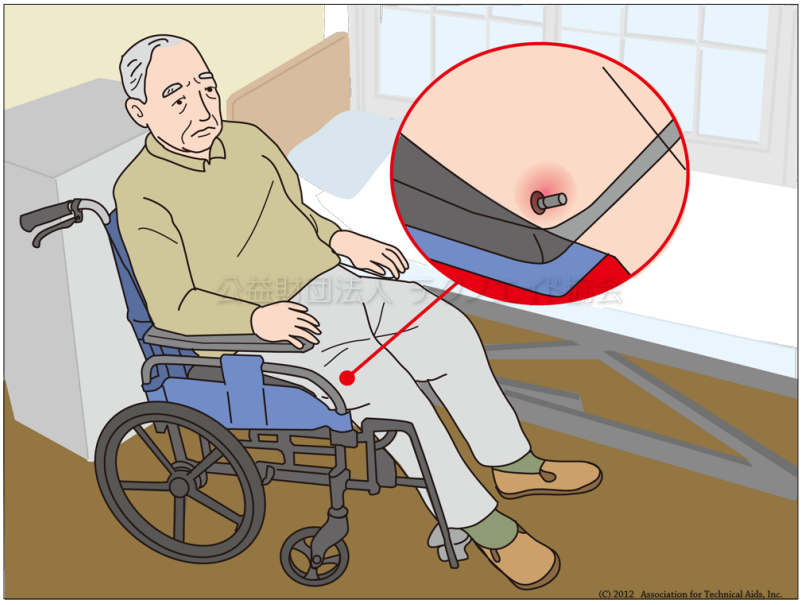
Case：22

## 空気を注入するためのバルブが腿（もも）にあたり、痛みが生じる

### 場面の説明

サイズの合っていないクッションを使用していて空気注入口が腿（もも）にあたったまま、長時間車いすに座っていた




| | |
|---|---|
| 利用シーン | 移動 |
| 主な利用場所 | その他 |
| 介護保険の種目 | 車いす付属品 |
| 分類コード(CCTA95) | 122406(シート（座）・背もたれ・車いす用パッド・クッション) |
| 介護テクノロジー | ― |
| 二次元バーコード | |

### 解説

クッション自体は本来このようなことが起こらないように設計されていますが、利用者の座位姿勢、車いすとクッションの適合、クッションの間違った使い方などにより、このような危険が生じる場合もあります。利用者の中には自らこのような危険を訴えることが出来ない方もいらっしゃいますので、介助者も定期的に確認しましょう。

### 参考要因

人：少しくらいサイズが違っていても大丈夫だろうと油断していた
モノ：クッションが適切な位置からずれていた
環境：福祉用具について適切なアドバイスのできる人が周囲にいなかった

Copyright 2000-2012 Association for Technical Aids, Inc. All rights reserved.